



鷲尾嶺

高知市立横浜中学校

学校便り 2021年度 No. 7

2021. 10. 8 (金)

学校教育目標

聴きあい・学びあい・支えあう

笑顔と感動のある学校

徐々に学校生活が普段通りに

9月22日に新型コロナウイルス感染症のステージが「警戒」レベルに下がったことにより、日常が戻りつつあります。授業に関しては、これまで通り、感染対策を講じて行うことには変わりありません。しかし、部活動に関して、変化があります。平日2時間程度、週休日等3時間程度、そして、練習試合や合同練習が可能となりました。3年生は最後の大会を、これから迎える部活動もあります。ぜひこのチャンスに向けて、悔いを残さないように精一杯取り組んでほしいと思います。また、最後の大会を終えた3年生のみなさん、お疲れさまでした。この1年7ヶ月は通常の活動を行うことができず、苦労も多かったと思います。今後の活躍に向けて、力を蓄えてください。

今後、普段の生活に戻りつつある中でも、マスク、手洗い、消毒は続けていきますので、ご協力をお願いします。

自由参観週間

9月11日に予定していました参観日が中止となり、今年も保護者の方に学校に来ていただき、子どもたちの様子を見ていただく機会が失われそうになりました。しかし、新型コロナウイルス感染症対応ステージも下がったことから、自由参観週間を設けました。実際に、生徒の様子を見ていただき、感じたことを伝えてもらい、子どもたちの成長につなげたいと考えました。

今回、保護者の方から、「横浜中はノーチャイムですが、1年生は移動教室の時、授業に遅れて行っていますね、時間に対する意識はどうでしょう」と聞かれました。2学期の重点目標である学習面にあげられる目標の一つにもあります。

学習面・生活面

- ・時間を守る・・・授業開始時間、2分前着席
- ・あいさつ・・・授業開始と終了のあいさつ、普段のあいさつ
- ・整理、整頓・・・授業をするために、環境整備、机の並び、机の上の荷物、床のゴミ、きれいに始める。
- ・思いやり・・・言葉を大切にす、人を傷つけない
支え合い、関わり合い、学び合い
- ・学び・・・主体的、対話的、深い学びに向けて、思考を深める、協働する、粘り強く取り組む
大学入試問題が変化している。

ことば

偉大な功績がありながら、まだ有名になっていない人の言葉を選んでみました。

カタリン・カリコ博士 1955年ハンガリー生まれの66歳

“不可能だという思い込みが
挑戦することを妨げてしまう”
“他人や環境は変えられない
自分で変えられることを見つけて集中する”

- ・新型コロナウイルスのワクチン mRNA(メッセンジャー・アールエヌイー)の研究を追及して、実用化に結び付けた。
- ・母国ハンガリーでの研究は打ち切られ、1985年にアメリカに渡る。
- ・アメリカに渡った後も研究に没頭したが、評価させず。
- ・しかし、論文を読み、実験を繰り返す。
- ・ウイルスを攻撃する「抗体」が作られ、ワクチンが作られた。

“私はヒーローではない、ヒーローは病院で治療にあたる医師や看護師、それに清掃作業員の人たちなど感染のあるおそれがある最前線で働く人たちです。”

自由参観週間へ来ていただきありがとうございました。
感想があれば、返信にて頂ければと思います。

2学期の行事等の変更・追加について

①文化発表会

10月22日(金)に予定していました文化発表会を12月2日(木)に延期します。9月24日の「新型コロナウイルス感染症のステージ変更による学校教育活動と行事予定の変更のお知らせ」の中で、お伝えしたように、これから授業で「歌」の練習を再開して、取り組んでいきます。詳細については、後日お知らせします。

②パラアスリート池透暢さんの講演会が決まりました。

池さんと生徒たちは、これまで交流があり、身近な存在であるかもしれません。車いすラグビー日本代表のキャプテンによる講演会はとても興味深いです。この企画は、PTA学年行事とタイアップしていますので、後日、案内文書を配布します。

講演日：令和3年10月21日(木) 12:45～、13:55～

※後日、案内文書を配布します。

今年度の生徒会スローガンの看板を張り替えました。

設置場所：生徒玄関



学校農園のサツマイモ収穫

令和3年9月21日(火)に7組の生徒たちと教員、そして田内元校長先生、山本さん(農園指導員)、西村さん(農園指導員)で6月に植え付けした「さつまいも」を掘りました。



事務室からのお知らせ

①9月分給食費口座引落し

全学年最大喫食数(21食) 5,880円

引落し手数料 55円

②引落日

10月18日(月)

「ずぐる」への登録をお願いします。

きりとり